



2019年12月12日

株式会社 リクルート ライフスタイル

『じゃらん』2019年年末、2020年年始の国内旅行動向発表

令和初の年末年始、旅行に行く人は増加傾向！

「日本文化、伝統」の新たな魅力を発見するリニューアルスポットに注目

株式会社リクルートライフスタイル（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：浅野 健）が運営する旅行情報サービス『じゃらん』は、旅行サイト『じゃらんnet』上の年末年始の宿泊予約状況、ならびにアンケート結果より、2019年年末、2020年年始の国内旅行動向を発表いたします。

『じゃらんnet』：<https://www.jalan.net/>

トピックス

■「例年は旅行に行かないが、この年末年始は旅行（宿泊・日帰り）に行く」と回答した人は約20%。

令和になって初めて迎える年末年始は日並びも良く最大9連休となります。『じゃらん』で調査したところ「例年の年末年始と比べて変化はありますか？」との質問に対し「例年は旅行に行かないが、この年末年始は旅行（宿泊・日帰り含む）に行く」と回答した人は約20%（P.2）。『じゃらんnet』の年末年始の予約も昨対比で増加しています。

■『じゃらんnet』の旅行先ランキングでは、「沖縄県」「福岡県」が上昇！年末年始の旅行は、少し遠くに！

旅行サイト『じゃらんnet』の年末年始の予約データから旅行先を見たところ、4位までは昨年と同じでしたが、「沖縄県」が5位、「福岡県」が9位にランクアップしました（P.2）。

■「日本文化、伝統」の新たな魅力を発見するリニューアルスポットに注目

訪日外国人の数も年々増加し、日本文化、伝統を感じられるスポットが注目を集めている中、2019年5月に令和を迎えたことで、あらためて日本文化や日本の伝統を感じる機会が増えたのではないのでしょうか。そこで、「リニューアルされ伝統を継承しながら現代的な視点を取り入れたようなスポットに行ってみたいですか」と質問したところ、約75%の方が行ってみたいと回答しています（P.3）。

年末年始の旅行、ここに注目！

今年の年末年始は、9連休となる方も多いのではないのでしょうか。令和初の年末年始ということもあり、いつもより少しぜいたくをしたり、非日常を味わいたいというニーズから、旅行に行く方も増えるのではないかと予想しています。

また、リノベーションや新スポットの登場による地域再生で新たな魅力を発信している温泉地など、国内にはさらに魅力的なスポットが増えており『じゃらん』編集部では、あらためて「日本文化、伝統」を感じられる旅にこの冬注目しています。

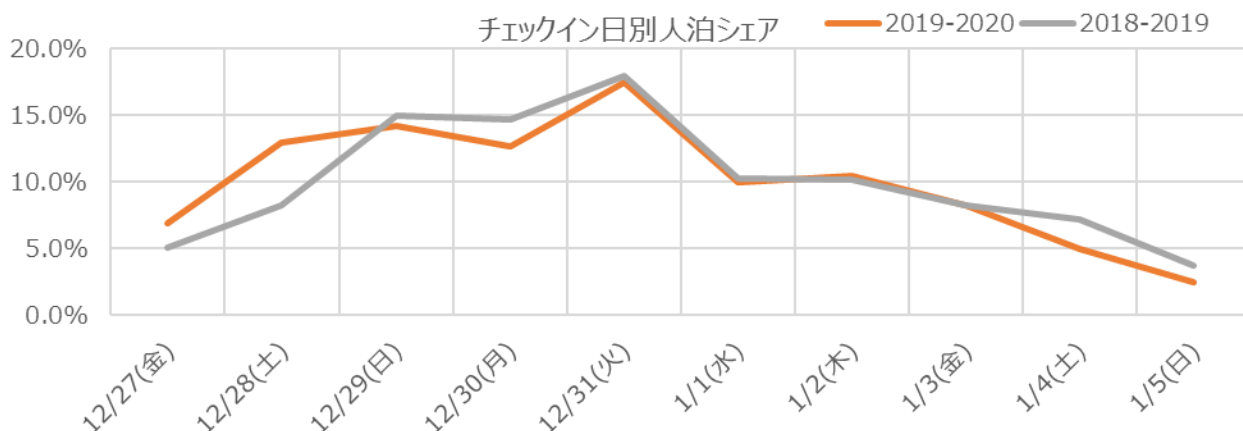


『じゃらん』統括編集長
大橋 菜央

【本件に関するお問い合わせ先】
<https://www.recruit-lifestyle.co.jp/support/press>

年末年始の旅行ピークは12月31日（火）

年末年始の休みが9連休となる今年。旅行サイト『じゃらんnet』の宿泊予約状況によると、2019年12月27日（金）～2020年1月5日（日）の旅行は、日別のシェアを見ると昨年も今年も12月31日がピークとなっています。



年末年始の旅行は、少し遠くに！ 沖縄県・福岡県が上昇！

『じゃらんnet』旅行先ランキング

2019年発表順位 ()内は昨年順位	都道府県
1位 (1位)	東京都
2位 (2位)	大阪府
3位 (3位)	北海道
4位 (4位)	千葉県
5位 (6位)	沖縄県
6位 (5位)	静岡県
7位 (7位)	神奈川県
8位 (8位)	長野県
9位 (10位圏外)	福岡県
10位 (9位)	兵庫県

『じゃらんnet』の予約データから人気の旅行先をランキング化。福岡県は、昨年10位圏外から今回9位となり人気上昇しています。2019年夏休みの旅行先ランキングでも順位がアップしており人気定着していることがうかがえます。年末年始のライブイベントの開催や、ホテルの新設、リニューアルにより受け入れ可能数が増加したことも要因の一つと考えられます。また、5位の沖縄県も昨年6位から順位を上げています。新しいホテルの建設により受け入れ可能数が増加したことに加え、日並びが良いため、少し遠くに行く方が増加していると考えられます。

【『じゃらんnet』年末年始旅行動向抽出条件】

2019年11月15日(金)時点での予約人泊数実績をもとに前年同時期比で算出

国内旅行：国内宿泊、ANAじゃらんパック、JALじゃらんパック、インバウンド ※レジャー予約のみ（1室利用人数1名予約は除く）

旅行先ランキング

チェックアウト日ベース、一部チェックイン日ベースあり

対象期間 当年：2019年12月21日(土)～2020年1月5日(日)

昨年：2018年12月21日(金)～2020年1月5日(土)

約20%が「例年は旅行に行かないが、この年末年始は旅行に行く」

『じゃらん』でアンケート調査をしたところ、この年末年始は日並びの影響か、旅行に行く方が増加傾向にあることが分かりました。『じゃらんnet』のデータでも2019年12月27日（金）～2020年1月5日（日）の予約は昨対比で増加しています。

Q.1 今年の年末年始は、例年と比べて変化はありますか？ n=2,073

回答	票数	%
例年は旅行に行かないが、この年末年始は旅行（宿泊・日帰り含む）に行く	439	21.2
具体的に決めていないが、せっかくなので例年と違うことがしたい気持ちはある	349	16.8
例年初詣に行く神社・お寺ではなく、令和にゆかりがあったりするような神社・お寺に初詣に行く	110	5.3
いつもは初詣に行かないが、この年末年始は初詣に行く	89	4.3
特に意識しない	1,075	51.9
その他	11	0.5

令和初の年末年始。「日本文化、伝統」の新たな魅力を発見するリニューアルスポットに注目

Q2. リニューアルされ伝統を継承しながら現代的な視点を取り入れたようなスポットに行ってみたくありませんか？ (SA) n=2,073

回答	票数	%
はい	1,536	74.1
いいえ	537	25.9

【『じゃらん』年末年始の旅行に関するアンケート】

期間：2019年11月8日(金)～11月11日(月)対象：全国20～69歳の男女 有効回答数：2,073件
調査内容：2019年の年末、2020年の年始における国内旅行について
調査方法：インターネットによるアンケート

Q3. Q.2のようなスポットで行ってみたいと思えるのはどんな場所ですか？ (MA) n=2,073

順位	スポット	票数
1位	温泉街	1,182
2位	城下町	1,051
3位	古民家	808
4位	酒蔵	645
5位	市場	608
5位	商店街	608

リニューアルされ、伝統を継承しながら現代的な視点を取り入れたようなスポットのうち、行ってみたい場所を聞いたところ1位は温泉街となりました。そんな温泉街を含め『じゃらん』編集部が注目するスポットをご紹介します。

月岡温泉（新潟県）

再生プロジェクトで人気再燃！

月岡温泉は、国内随一の成分含有量を誇る硫黄泉で、鮮やかなエメラルドグリーンの湯色が特徴の温泉を有する温泉地です。「美人の湯」として賑わっていた温泉地ですが、近年、若手経営者の方々が「空き店舗再生事業」に取り組み、新潟の食材を試飲・試食・手作り体験などができるテーマ性のあるお店を空き店舗を利用して続々オープンするなど、「歩きたくなる温泉街」を目指した取り組みが話題になり、温泉地の人気が再燃しています。

富士吉田（山梨県）

外国人も注目する街で昭和ノスタルジーを体感！

昭和初期に織物によって栄えた富士吉田には、古き良き街並みが残っています。その雰囲気を残しながらリノベーションを行い、「新世界通り」をもう一度「乾杯！」の掛け声で賑わう通りにしたい！と2016年「新世界乾杯通り」として復活しました。これを皮切りに、昭和レトロな街並みが楽しめる若者にも注目されています。また、富士山が見える忠霊塔や街並みが日本らしいフォトスポットとして、外国人観光客の間でも話題になり、吉田うどんや機織などの文化はそのままに、街全体が賑わいを取り戻しているようです。



『じゃらん』統括編集長
大橋 菜央

『じゃらんnet』「遊び・体験予約」では日本文化体験のネット予約が可能！

『じゃらんnet』のレジャー・アクティビティ予約サービス「遊び・体験予約」

「遊び・体験予約」(<https://www.jalan.net/activity/>)は、アウトドア、果物狩り、マリンスポーツや陶芸体験などの約200種類のジャンルがあり、「伝統文化・日本文化」のジャンルもあります。行きたいエリア・日時、さまざまな利用シーン別の特集などから、自分に合ったレジャー・アクティビティを検索可能。



蒔絵教室 銀座
(東京都中央区)
一人5,400円
(器代金込み)

体験名：蒔絵体験～伝統工芸を通じて日本の“文化”を“体感”する2時間～銀座
銀座で気軽に、蒔絵技法の中では簡素な1日のできる平蒔絵技法で作品を創ります。



鍔仙会能楽研修所
(東京都港区)
一人3,000円～

体験名：ふらっと能楽体験@表参道 | 日本の伝統芸能を体験する2時間
室町時代から続く能楽を気軽に楽しむことができます。プロによる実演付きで、鑑賞とは違った伝統文化の体験が可能。